

コメント

1 インフルエンザ

定点当たり0.50人の報告があり、前週と比べて増加しました。
また、9月30日に、広島市で今シーズン初めてのインフルエンザ様疾患による学級閉鎖が報告されました。現在、流行開始の目安(定点当たり1.00人)には達していませんが、今後、本格的な流行を迎えることが予想されます。手洗い、咳エチケットなどの感染予防対策を心がけましょう。

【参考】今シーズン初の市内インフルエンザ様疾患による学級閉鎖の報告がありました(広島市)
<https://www.city.hiroshima.lg.jp/houdou/houdou/401518.html>



2 マイコプラズマ肺炎

定点当たり6.33人の報告があり、多い状況が続いています。全国も増加傾向で推移しています。感染予防対策を心がけましょう。(次ページ参照)

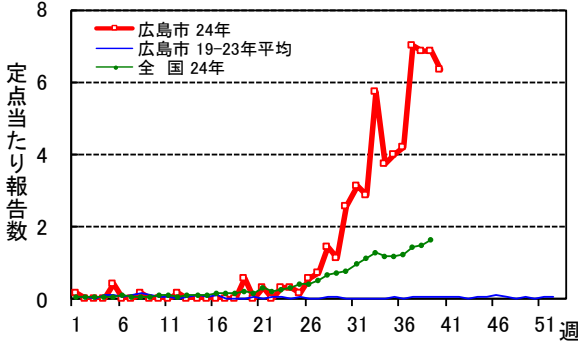
3 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり1.50人の報告があり、前週と比べるとほぼ横ばいです。引き続き、基本的な感染予防対策に取り組みましょう。

4 百日咳

2件の報告があり、今年の累計は16件となりました。感染経路は、飛沫感染と接触感染です。予防にはワクチン接種が有効です。定期接種対象者は早めに接種を受けましょう。

マイコプラズマ肺炎の流行状況



■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年(注)	発生記号
インフル	インフルエンザ	18	0.50	0.98	↑	小児科	ヘルパンギーナ	2	0.09	0.97	
	新型コロナ(COVID-19)	54	1.50		→		流行性耳下腺炎	-	-	0.03	
小児科	RSウイルス感染症	7	0.30	0.70		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
	咽頭結膜熱	1	0.04	0.24			流行性角結膜炎	5	0.63	0.60	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	33	1.43	1.04	↘	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	0.03	
	感染性胃腸炎	48	2.09	2.32	↘		無菌性髄膜炎	-	-	-	
	水痘	1	0.04	0.05			マイコプラズマ肺炎	38	6.33	0.06	→
	手足口病	38	1.65	1.49	↘		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	伝染性紅斑	-	-	0.09			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	
	突発性発しん	7	0.30	0.23							

急増減 ↑ 前週と比較しておおむね1:2以上の増減

増減 ↗ 前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減

微増減 ↘ 前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減

横ばい ⇐ ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	6

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
5	梅毒	5	127	20歳代・2人、30歳代・1人、40歳代・2人
5	百日咳	2	16	10歳未満、10歳代

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

			インフルエンザ	(C O V I D 19) 新型コロナ	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ 肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス) 感染性胃腸炎
報告数	広島市	第36週	6	105	11	2	35	69	1	72	-	5	4	-	-	8	-	-	25	-	-
		第37週	2	79	2	6	36	69	8	59	2	4	8	-	-	10	-	-	42	-	-
		第38週	3	52	6	5	25	60	4	57	1	6	7	-	-	9	-	-	41	-	-
		第39週	7	55	4	2	43	61	6	50	-	4	3	-	-	7	-	-	41	-	-
		第40週	18	54	7	1	33	48	1	38	-	7	2	-	-	5	-	-	38	-	-
定点 当たり	広島市	第36週	0.17	3.00	0.50	0.09	1.59	3.14	0.05	3.27	-	0.23	0.18	-	-	1.00	-	-	4.17	-	-
		第37週	0.06	2.26	0.09	0.27	1.64	3.14	0.36	2.68	0.09	0.18	0.36	-	-	1.25	-	-	7.00	-	-
		第38週	0.08	1.44	0.26	0.22	1.09	2.61	0.17	2.48	0.04	0.26	0.30	-	-	1.13	-	-	6.83	-	-
		第39週	0.19	1.53	0.17	0.09	1.87	2.65	0.26	2.17	-	0.17	0.13	-	-	0.88	-	-	6.83	-	-
		第40週	0.50	1.50	0.30	0.04	1.43	2.09	0.04	1.65	-	0.30	0.09	-	-	0.63	-	-	6.33	-	-
	全国	第38週	0.55	4.35	0.46	0.25	1.78	2.48	0.14	7.77	0.17	0.25	0.50	0.04	0.01	0.41	0.02	0.05	1.49	-	0.01
		第39週	0.63	3.58	0.37	0.23	1.64	2.35	0.13	8.12	0.19	0.25	0.39	0.04	0.01	0.41	0.02	0.05	1.64	-	-

■ 新たに判明した病原体検出状況

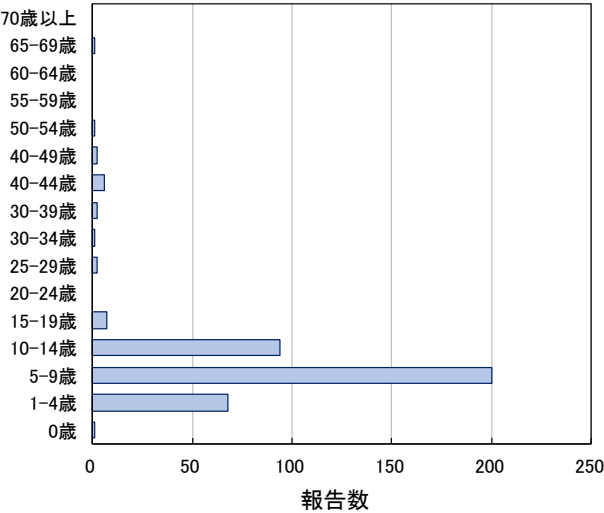
(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	発症年月日	検査材料	検出病原体
その他の循環器疾患	嘔吐 肝機能障害 心筋炎 意識障害 血圧低下 循環不全	6	2024/08/03	糞便	エコーウイルス3型
その他の疾患	発熱(38.3℃)	0	2024/08/03	咽頭拭い液 髄液 糞便	コクサッキーウイルスA16型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

【参考】広島市におけるマイコプラズマ肺炎の年齢階層別報告数(2024年累積)

基幹定点からのマイコプラズマ肺炎 年齢階層別報告数
2024年累積(第40週現在)



広島市における基幹定点からのマイコプラズマ肺炎累積報告数(385件)を年齢階層別にみると、5-9歳が200件(51.9%)と最も多く、次いで10-14歳が94件(24.4%)、1-4歳が68件(17.9%)となっています。

マイコプラズマ肺炎は、肺炎マイコプラズマという細菌に感染することによって起こる呼吸器感染症で、小児や若い人の肺炎の原因として、比較的多いものの一つです。

主な症状は、発熱や全身の倦怠感(だるさ)、頭痛、咳などの症状がみられます(咳は少し遅れて始まることもあります)。咳は熱が下がった後も長期にわたって(3~4週間)続くのが特徴です。

感染経路は、飛沫感染と接触感染です。手洗い、咳エチケット、タオルの共用を避けるなど、感染予防対策を心がけましょう。

【参考】

マイコプラズマ肺炎(厚生労働省)
<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/mycoplasma.html>



マイコプラズマ肺炎の発生状況について(国立感染症研究所)
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/mycoplasma-pneumonia-m/2662-cepr/12869-mycoplasma-2409.html>



本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。
<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/infectious-disease/>



【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp